

《担当者名》非常勤講師 / 阿部 和夫

【概要】

簡単な会話文と初級文法を中心に学ぶ初級者のためのドイツ語講座

【学修目標】

初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、楽しくドイツ語の読み・書き・会話における基礎的な力を身に付けることができる。また、ドイツの現状や文化についても理解を深め、ドイツ語と日本語の違い、あるいはドイツ人と日本人の価値観の違いについてなど様々な問題意識をもつことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツという国の大要・ドイツ語の位置づけについて概説できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
2	アルファベートと発音；人称代名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・母音の発音ができる。 ・英語の発音との相違点について説明できる。 ・アルファベートの発音と単語の発音との関連性について説明できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
3	発音その2；動詞の現在人称変化	<ul style="list-style-type: none"> ・子音の発音が可能になる。 ・英語との語彙の類似性を指摘できる。 ・動詞の語尾変化の基礎を説明できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
4	初步の独作文と語順	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な挨拶と0～9の数を言うことができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・動詞の位置と語順について説明できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
5	これまでのまとめ 様々な形容詞	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞を中心とした語彙を増やし、使用できる。 ・疑問文を使った言い回しができる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
6	名詞の性 重要な動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の文法上の性について説明できる。 ・ドイツの教育制度と大学について概説できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
7	格変化その1	<ul style="list-style-type: none"> ・冠詞や名詞の変化の基本を説明できる。 ・ドイツにおける環境問題と買い物事情について、説明できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
8	名詞の複数形	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の複数形を使い分けができる。 ・辞書を引く際のテクニックを得られ、実践できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
9	格変化その2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の格助詞「は、の、に、を」に相当する変化を使いこなすことができる。 ・ドイツの食文化について、概説できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
10	格変化その3	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な冠詞ごとの格変化を使いこなすことができる。 ・冠詞の仲間はすべて変化することを説明できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
11	数詞	<ul style="list-style-type: none"> ・数詞の発音と聞き取りができる。 ・ゲーム形式で50までの数を練習し、正しく発音できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
12	不規則動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・不規則な動詞の現在人称変化を説明できる。 ・ドイツ人の余暇の過ごし方と観光について、概説できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
13	人称代名詞の格変化	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のI , my , me , ...に相当するドイツ語を用いることができる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
14	慣用表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知っておくと便利な表現を使いこなすことができる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫
15	総括と復習	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習と自己紹介の練習を行い、実践できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン (1)-2</p>	阿部 和夫

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末試験 70~80% 授業参加態度と小テストなどの平常点 20~30%
試験後は質問に応じる。

【教科書】

「イン・ドイチュラント (in Deutschland)」秋田静男 朝日出版社 2016年

【参考書】

独和辞典（種類は問わない）

【学修の準備】

・予習として：教科書のホームページにアクセスし、次回の授業範囲の映像・音声を視聴し、あらかじめ耳を慣らしておくこと。
(40分)

・復習として：教科書付属問題集の中から、前回の授業内容にかかる問題を解くこと。(40分)

【薬学準備教育ガイドライン】

(1)人と文化-2

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的および国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。